

A1660	国鉄205系 山手線	量産先行車 基本4両セット	登場時	予価:21,670円(本体価格19,700円)
				JANコード:116043 カートン内入数:12
A1661	国鉄205系 山手線	量産先行車 増結6両セット	登場時	予価:27,830円(本体価格25,300円)
				JANコード:116050 カートン内入数:12

商品形態	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)
実車	205系は国鉄初の本格的なステンレスカーとして、1985年1月に第一編成が製造されました。車体は一部を除きステンレス製で、徹底的な軽量化が図られているのが特徴です。量産先行車の40両は2段窓で登場しましたが、それ以降は1段下降窓となりました。山手線を皮切りに、首都圏、京阪神地区に投入され勢力を拡大しました。山手線には2002年より後継車となるE231系500番代が投入され、先頭車改造、扉半自動化、VVVF化などのさまざまな改造が行われ各地へ転配が行われました。2021年現在、E233系などの投入により首都圏主要路線からは引退し、鶴見線、相模線、東北本線、仙石線などにわずかに残るのみとなっています。
商品概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロエース通勤型電車シリーズの更なる充実 ・田の字型サッシが特徴の205系量産先行車を製品化 ・フライホイール付動力ユニット搭載 ・ヘッドライト、テールライト、前面表示器点灯

国鉄ステンレス時代の幕開け！205系山手線



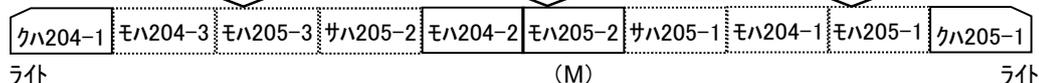
JR東日本商品化許諾済

- 1985年落成の第一編成を登場時の姿で製品化
- JRマークなし、号車札なし、シルバーシートマーク印刷済
- スカートなし、座席パーツは茶色で成型
- お求めやすいように基本セットを4両に設定

編成図

A1660

A1661



オプション	幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・黒:F0001
付属品	行先シール